



## シンガポールのジカウイルス中国国籍人 30 名感染 変種か

科学網 news.sciencenet.cn

2016-09-07

9:47:36 来源: 南方都市报

シンガポール衛生省と国家環境局は、**06** 日夜、昼までに、シンガポールデジカウイルス感染患者総数が **275** 名になったと共同声明を発表した。記者は、北京衛生計生委から、現時点でシンガポール在住中国人 **30** 名がこれに感染しているとの情報を得た。

### □流行状況

#### 感染者数は急増

現地メディアの報道によれば、シンガポールのリー・シェンロン首相は、一週間少しの間に同国内でジカウイルス患者が激増しており、国として既に流行への緊急対応措置を採っていると語ったようだ。シマカは東南アジア地区に存在しており、ジカウイルスが同地での流行病となり得ると言うことだ。リー首相は、**ASEAN** 諸国が協力し合って、長期にわたりジカウイルスへの対抗策を準備すると同時に、シンガポールの通商解放と連携を確保する必要があると話している。

昨夜、記者が北京市衛生計生委から得た情報では、**WHO** の感染症情報で、**2007** 年 **01** 月 **01** 日から **2016** 年 **09** 月 **01** 日までの期間中、全世界で **72** の国や地域でジカウイルス患者が出ているとのことだ。そのような中で、シンガポール保健省が、**2016** 年 **09** 月 **05** 日までに同国においてジカウイルス感染が確定診断された患者数が **258** 人になり、確診患者数が急上昇していると発表した。

このほかに、在シンガポール中国大使館は、これらの感染者の中には **30** 名の在シンガポール中国人が含まれていることを認めた。

### ウイルスの伝播？変種？

これに先立って、シンガポール保健省と国家環境局は、新たに増えた感染患者とこれまでに見つかったアルジュニードやシムズアヴェニュー、パヤレバー、カラロードなどの流行地区との間には関連があるとの共同声明を発表していた。

シンガポール国家衛生実験室などの医療機構は、アルジュニード、シムズアヴェニューで見つかった 2 名の感染者から検出されたジカウイルスの遺伝子解析後に、このウイルスが東南アジアからのものであり、南米から輸入されたものではないということを発見、このウイルスは、既に東南アジアで流行しているウイルスの変種である可能性があるとした（下線は訳者による）。

### □追加の質問

#### 1. ウィルスを持つ蚊の分布地域は？

##### 南方は蚊密度が高くリスクは大

北京の地壇医院感染症センター王凌航副主任は、中国でジカウイルス感染と関連のあるシマカの種類は、ネッタイシマカとヒトスジシマカが主なものだとする。そのうち、ネッタイシマカは主に海南省や広東省、雲南省、広西省などに分布している。これに対し、ヒトスジシマカは、瀋陽、大連、天水を経て隴南からチベットの墨脱を結ぶ一線からその東南部の大部分の地区に広く分布してはいる。蚊の密度から見れば、本土の北方でジカウイルスの感染が拡大するリスクは南方より遙かに低く、『北方人がジカウイルス感染に対してパニックを起こす必要は無い』。

#### 2. 北京には患者がいるのか？

##### 見つかったのは 3 名ながら本土での感染ではない

今年になってから、北京では **3** 名の輸入性患者が見つかったが、どれも大陸での患者ではない。最初の患者は；

山東省烟台市人の中国籍 **29** 歳女性。患者は、**2016** 年 **04** 月、ベネズエラを訪問しており、現地時間 **05** 月 **11** 日に少量の皮疹を伴う発熱が現れ、**05** 月 **13** 日、航空機で帰国した後に確信された。

二番目の患者は；

北京市豊台人の **35** 歳男性。患者は、**05** 月 **21** 日にボリビアから航空機で帰国、その日に軽度の搔痒感

と皮疹を伴う不快感と発熱が現れていた。

三番目の患者は；

湖北省武漢人の 31 歳男性。患者は、05 月 21 日に発熱が現れ、05 月 27 日にベネズエラからパリ経由で、28 日の 5 時に首都空港に到着、その後確診された。

<http://news.sciencenet.cn/htmlnews/2016/9/355665.shtm?id=355665>

..... 以下は中国語原文 .....

## 30 名中国公民在新加坡感染寨卡 病毒或已变种

科学网 news.sciencenet.cn

2016-09-07

9:47:36 来源：南方都市报

新加坡卫生部和国家环境局 6 日晚联合发表声明说，截至 6 日中午，新加坡境内寨卡病毒感染病例总数增至 275 例。记者从北京卫计委获悉，目前已有 30 名在新加坡的中国人感染此病。

### □ 疫情

#### 感染人数不断飙升

据当地媒体报道，新加坡总理李显龙说，新加坡本地传播的寨卡病例在一个多星期内激增，该国已经加紧采取措施应对疫情。由于伊蚊在东南亚地区滋生，意味着寨卡病毒可能在本地区成为流行病。李显龙说，东盟各国必须携手合作，在做好长期对抗寨卡病毒准备的同时，也要确保本地区商贸开放和联通。

昨天，记者从北京市卫计委获悉，根据 WHO 疫情形势报告，自 2007 年 1 月 1 日至 2016 年 9 月 1 日期间，寨卡病毒在全球 72 个国家和地区出现了传播流行。其中，新加坡卫生部公布，截至 2016 年 9 月 5 日，新加坡的寨卡病毒病确诊病例数已增至 258 人，确诊的感染人数还将上升。

另外，据中国驻新加坡大使馆证实感染者中还包括 30 名在新加坡的中国人。

### 传播病毒或已变种

此前，新加坡卫生部和国家环境局发布联合声明称，新增的感染病例与此前发现的阿裕尼弯、沈氏通道、加冷大道和巴耶利峇大道疫区疫情有关。

新加坡国家公共卫生实验室等机构对阿裕尼弯、沈氏通道疫区的两名感染者身上检测出的寨卡病毒进行基因测序分析后发现，病毒源自东南亚，并非从南美洲输入。该病毒很可能是原本已在东南亚传播的寨卡病毒的变种。

### □ 追问

#### 1 毒蚊分布区域？

##### 南方蚊虫密度大风险高

北京地坛医院感染中心副主任王凌航表示，我国与传播寨卡病毒有关的伊蚊种类，主要为埃及伊蚊和白纹伊蚊。其中埃及伊蚊主要分布于海南省、广东省、云南省、广西等地。而白纹伊蚊则广泛分布于北至沈阳、大连，经天水、陇南，至西藏墨脱一线及其东南侧大部分地区。从蚊虫密度来看，寨卡病毒在北方本土传播的风险比南方小得多。“北方群众不需要对寨卡病毒传播特别恐慌。”

#### 2 北京有无病例？

##### 发现 3 例但无本土病例

今年以来，北京市共发现输入性寨卡病毒病病例 3 例，无本土病例。

第一例病例为女性，29 岁，中国籍，山东省烟台市人。患者于 2016 年 4 月前往委内瑞拉，当地时间 5 月 11 日出现发热、伴有少量皮疹，5 月 13 日乘机回国，后被确诊。

第二例病例为男性，35 岁，北京丰台人。于 5 月 21 日从玻利维亚乘飞机回国，当日自感不适发热，伴有皮疹，有轻度瘙痒。

第三例病例也为男性，31 岁，湖北省武汉人。患者于 5 月 21 日出现发热，5 月 27 日从委内瑞拉乘飞机经巴黎转机，28 日 5 时抵达首都机场，后被确诊。

综合京华时报记者马金凤新华社京华时报制图杨佳宁